

# 生涯学習事業実践事例集

## ～自治振興区で行う生涯学習事業～

### (令和5年度事業)



令和7年3月



庄原市教育委員会  
(生涯学習課)

# はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興区において実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

## 目次

### 各施設実践事例書

#### 庄原地域

庄原自治振興区	【子ども料理教室】	1
高自治振興区	【味噌作り教室】	2
本村自治振興区	【ふれあい給食】	3
峰田自治振興区	【里山塾（保育所サツマイモ掘り）】	4
敷信自治振興区	【板橋小学校児童との料理】	5
東自治振興区	【リースづくり】	6
山内自治振興区	【山内ふるさと祭り】	7
北自治振興区	【庄原北地区歩く会】	8

#### 西城地域

西城自治振興区	【子ども写真教室】	9
八銚自治振興区	【しいたけ栽培講座&旬の料理づくり】	10

#### 東城地域

東城自治振興区	【野外活動】	11
小奴可の里自治振興区	【スマホ教室】	12
八幡自治振興区	【からだゆらし】	13
田森自治振興区	【田森まるごと元気村】	14
帝釈自治振興区	【ふれあい弁当】	15
久代自治振興区	【久代でげんきシリーズ認知症について学ぼう！】	16
新坂自治振興区	【とんど祭り】	17

#### 口和地域

口和自治振興区	【小学生ふれあいスポーツ教室】	18
---------	-----------------	----

#### 高野地域

上高自治振興区	【こども防災・工作教室】	19
下高自治振興区	【たかの体験（秋）】	20

#### 比和地域

比和自治振興区	【スマホ教室】	21
---------	---------	----

#### 総領地域

総領自治振興区	【うどんうび】	22
---------	---------	----

#### 自治振興区連絡先一覧

-----	23
-------	----

事業名	事業テーマ
子ども料理教室	家庭教育支援・技能習得

**事業費**

32,867円（事業費の内訳：報償費5,000円・需用費27,615円・通信費252円）

**事業の概要**

- ・地域内の庄原小学校・永末小学校の5・6年生の児童を対象に子供料理教室を開催。
- ・コロナ禍・リニューアル工事のため4年ぶりの開催。講師は伊能純子さん。

**事業の目的**

・いろんな食材を使って子供同士・講師先生とコミュニケーションをとりながら、料理を作り、食べる、片付けることによって食の大切さを学び、料理の技術も身につける。

**対象者**

地域内の2小学校の児童

**参加人数**

延べ3人

**開催期間**

11月18日（土曜日）

**実施回数**

1回【所要時間：180分】

**事業の内容**

- ・メニューは、①うどんギョウザ②早ゆでマカロニサラダ③中華スープ④バターコーンライス⑤カルピスゼリー。
- ・調理・食事・片付け含めて9：30から12：30までの3時間。
- ・調理を通して食の大切さ、調理技術の習得・世代間交流を行う。

**特徴的な内容**

- ・子供が興味を持ちやすく、家に帰ってから家族の方と一緒にできる内容を企画した。

**成果・課題等**

- ・秋の行事等と重なってか参加者が少ない状況の中ではあっても、その分一人ひとりが丁寧にしっかりと料理ができ、みんなとコミュニケーションも取れ楽しい充実した料理教室であった。みんなで食事している時に感想を聞き取りし、終了後アンケートを実施した。
- ・「フライパンで具材をひっくり返すなど難しいところもあったが、友達と一緒に料理を作れて楽しかった」「とてもおいしい。家でもつくってみたい」次回何を作ってみたいかも書いてもらった。

**写真**

事業名	事業テーマ
味噌作り教室	住民の健康づくりと社会参加

**事業費**

66,878円（事業費の内訳：報償費15,000円・材料費・機械借上げ料51,878円）

**事業の概要**

・味噌づくりを学習したいという声が多かったため住民を対象とした味噌づくり教室を実施し、学習する。  
1回目の教室は敷信地区の女性部から講師をむかえて、麦みそづくりの基本を教わる。

**事業の目的**

・味噌づくりを教わるとともに、自炊による健康管理、食への関心、出来上がりの達成感等を感じて欲しい。  
また、住民同士の交流も目的とする。

**対象者**

高地区住民

**参加人数**

12人

**開催期間**

3月3日（日曜日）

**実施回数**

1回

**事業の内容**

- ・前日に各自で大豆を煮てくる。
- ・麦麴と塩を混ぜた物に煮大豆を入れさらに混ぜ合わせる。
- ・混ぜ合わせたものをミンサーにかけ、ミンチ状にする。
- ・ミンチ状にしたものを団子状にして空気を抜きながら容器に詰めていく。
- ・カビ等が付かないように密閉し、約1年間保管する。

**特徴的な内容**

・今回は初めての味噌づくりのため、長年味噌づくりをされている敷信地区の女性部の方に作り方を教わった。

**成果・課題等**

・味噌づくりの後、講師と参加者で振りかえりを行った。出来上がった物は各自の家で1年間寝かすため、それぞれ楽しみに待つことにした。次年度からは今年の参加者が学習したことをもとに、講師を立てずに住民のみで作ることになった。反省会では敷信地区と高地区の交流会となり、楽しいひと時を過ごした。

**写真**

事業名		事業テーマ	
ふれあい給食		独居高齢者へのお弁当づくり、見守り活動の推進	
<b>事業費</b>			
175,396円（事業費の内訳：報償費35,000円・需用費140,396円）			
<b>事業の概要</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2回（第2水曜日・第4水曜日）実施。【都合により変更もある】</li> <li>・調理は8時30分より開始され、11時30分頃に各お宅へ配達してもらう。</li> <li>・1食400円にて受給者さんより都度、徴収させてもらっている。</li> </ul>			
<b>事業の目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人暮らしをされている、もしくはご夫婦で暮らしている高齢者の方の安否の確認や心身状態の確認、地域での困り事などの確認や解決の手伝いを行い、偏りがちになる食事も栄養のある温かいご飯を食べてもらい、元気で地域の一員として最後まで楽しく暮らしてもらう手助けを推進している。</li> </ul>			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
75歳以上の高齢者（独居もしくはご夫婦）		166人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
4月1日（土曜日）～3月31日（日曜日）		24回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理ボランティアさんは地域の女性方が協力してくださり、4人1組×5組にてローテーションで担当。</li> <li>・配達ボランティアさんは地域の一人暮らし巡回相談員さん3名に担当してもらっている。</li> <li>・調理はなるべく全ての食材に火を通すようにすることで、食中毒などの予防に努めている。</li> <li>・1品ごとに検食を保健所へ提出している。（各班の班長）</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する野菜などは担当日の調理ボランティアさんが自宅で栽培された新鮮なものを利用している。</li> <li>・季節に応じて山菜や果樹などを収穫し、受給者さんに季節の味わいを届けられるよう工夫している。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたお弁当は写真を撮り、毎月発行している広報誌にて献立とともに掲載している。</li> <li>・3月のふれあい給食配達時にアンケートを実施し、味や作ってほしい献立などを調査している。</li> <li>・同じく3月の終わり頃に、アンケート調査結果を基にボランティアさん方による反省会を実施。</li> <li>・今後の課題としては、ボランティアさん方の高齢化が進み人員が不足していくことが懸念事項である。</li> <li>・お弁当を毎回楽しみにしてくださっている受給者さんが多く、少しでも長く続けられるように協力していく。</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			
			
			
			
		<p>お届け時はリボン紙を付けてお便りとしてお渡します</p>	
		<p>春は山菜、秋はなばを使った季節感ある献立</p>	

事業名	事業テーマ
里山塾（保育所サツマイモ掘り）	世代間交流
<b>事業費</b> 79,177 円（事業費の内訳：報償費 15,000 円・需用費 64,177 円）	
<b>事業の概要</b> ・世代間交流として里山公園を利用しサツマイモの収穫を地域の人達と園児たちが一緒に作業する。	
<b>事業の目的</b> ・世代間交流として保育所園児と地域の人との交流を深める。 日頃子供と接する機会がない地域の人達も交流を楽しみにしている。	
<b>対象者</b> 峰田地区住民・保育所園児	<b>参加人数</b> 27 人
<b>開催期間</b> 10 月 20 日（金曜日）	<b>実施回数</b> 1 回
<b>事業の内容</b> ・5月に植え付けたサツマイモが、収穫をむかえ自然とふれあい楽しくサツマイモ掘りを、地域住民と園児たちと一緒に実施。 ・掘ったサツマイモは、保育所（園児）に持ち帰り給食の食材になったり、家に持ち帰る。（その場でも家族の会話もはずむことでしょう。）	
<b>特徴的な内容</b> ・世代間交流	
<b>成果・課題等</b> ・土の中から、大きなサツマイモが出てきたら歓声を上げ喜び、周りのくさやつちの中も気になり観察しつつ楽しみながら、日頃子供と接することのない地域の住民にとっても楽しい時間となる。	
<b>写真</b>	 <p>The top photograph shows a large group of children and adults posing for a group photo in an outdoor setting. Many children are wearing colorful hats and some are holding up their hands. The bottom photograph shows a group of people, including children and adults, engaged in digging for sweet potatoes in a field. They are wearing various work clothes and hats, and some are using tools like shovels.</p>

事業名		事業テーマ	
板橋小学校児童との料理		世代間交流と豆腐作りを伝授する	
<b>事業費</b>			
50,000円（事業費の内訳：需用費50,000円）			
<b>事業の概要</b>			
・地域の人と児童が大豆の播種から収穫までの作業を一緒にし、豆腐を作って会食をする。			
<b>事業の目的</b>			
・日頃関わらない子供達との世代間交流と、子供達に豆腐作りを教える。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
板橋小学校5年生・地区民		200人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
6月15日（木曜日）～3月12日（火曜日）		5回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月15日に地区民と児童で大豆の播種作業を行う。</li> <li>・草取りや刈取りを経て収穫し、ハデ干し、脱穀を行う。</li> <li>・種まきから約9か月後に児童と一緒に豆腐作りを実施。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆の生産活動から加工までの過程を学習する。</li> <li>・地域の人が子供達に今では珍しい手作り豆腐を教えながら作る。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人でも家で豆腐を作ることはなくなった現在、子供達に作り方を教えるのは難しい。</li> <li>・子供達は非常に喜んで豆腐もおからも美味しく頂き、交流面でも良い会食ができた。</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			

事業名	事業テーマ
リースづくり	地域体験学習

**事業費**

6,823円（事業費の内訳：需用費6,823円）

**事業の概要**

・子どもや子育て世代の方が振興センターへ集まれる事業として、親子や友達同士で楽しんでもらえる簡単に作れるリースづくりを行う。交流の場となるよう出来上がった作品を飾って写真を撮れるフォトブースも設置。

**事業の目的**

・地域体験学習事業は「子どもたちが集う自治振興センター」をコンセプトにしており、振興センターへ子どもや子育て世代に集まってもらい、様々な体験を通して交流してもらうことを目的とする。

**対象者**

東地区民

**参加人数**

29人

**開催期間**

12月10日（日曜日）

**実施回数**

1回

**事業の内容**

・クリスマス時期ということもあり、簡単に作ることができるリース作りを行う。様々なデコレーションを用意することで飾りつけ次第で色とりどりのリースが完成する。

**特徴的な内容**

・様々なデコレーション素材を用意。完成後もフォトブースとして記念撮影ができるようにし、ものづくり体験や親子で共有する時間を楽しんでもらう。

**成果・課題等**

・出来上がった作品をフォトブースへ展示することで、「みんなそれぞれちがったリースでかわいい」との声があり、他の参加者の作品を見る機会もできた。  
・子ども、友達同士など、子育て世代の方々が参加できる事業を楽しみにされている方がたくさんいることが分かった。今後も振興センターに子育て世代が集まり、様々な体験が出来る事業を継続していくことが必要と考える。

**写真**

事業名	事業テーマ
山内ふるさと祭り	地域の絆を深め、 多世代が楽しむふるさと祭りの開催

**事業費**

80,000円（事業費の内訳：報償費80,000円）

**事業の概要**

・山内ふるさと祭りは、地域住民が一堂に会し、交流を深めるための伝統的なイベント。コロナウイルスの影響により令和元年以来開催を見送っていたが、令和5年11月12日に4年ぶりに再開した。会場は山内自治振興センター、山内小学校体育館およびグラウンドで行われ、約400名が参加した。

**事業の目的**

・山内ふるさと祭りの主な目的は、地域の連帯感を高め、多世代と一緒に楽しめる場を提供すること。また、地域の資源や活動を広く発信し、地域の魅力を再認識する機会とすることを目指している。

**対象者**

地域住民の皆さん

**参加人数**

400人

**開催期間**

11月12日（日曜日）

**実施回数**

1回

**事業の内容**

- ・ステージトラクション：三次消防音楽隊の吹奏楽とカラーガードの演技、上田・岡田さんたちのギター演奏と歌、放課後子ども教室のダンスパフォーマンスが行われた。
- ・また、生涯学習事業に係る団体（生花教室、手編み教室、書道教室、洋裁教室、写団アルファ、放課後子ども教室、山内絵画）の作品展示が行われた。
- ・特別イベント：株式会社NGC様から提供された卵を用いた卵のつかみ取り、山内小学校PTAと保育所保護者会によるフリーマーケットとキッズプレイスペース、児童園児の作品展示、抽選会。

**特徴的な内容**

- ・地域全体の協力：出店の運営やステージ設営、片付けなど、多くの住民が協力し合い、祭りを成功に導いた。
- ・多彩なプログラム：音楽演奏、ダンス、手工芸展示、出店など、多岐にわたるプログラムが実施され、幅広い年齢層が楽しむことができた。
- ・子どもたちの参加：放課後子ども教室や児童園児の作品展示など、子どもたちの積極的な参加が見られた。

**成果・課題等**

・約400名の参加者が集まり、地域の連帯感が深まった。子どもから大人まで、多世代が一堂に会する貴重な機会となった。参加した方々から、「楽しかった」との声をいただいた。参加者の声を反映し、さらに多彩で魅力的なプログラムを提供することを目指したいと思う。

**写真**

事業名	事業テーマ
庄原北地区歩く会	健康ウォーキング
<b>事業費</b> 33,990円（事業費の内訳：車借り上げ料22,000円・需用費11,990円）	
<b>事業の概要</b> ・平成15年6月1日発足、毎月例会を開催。 ・地区内はもとより、庄原市内・近隣の市町を散策	
<b>事業の目的</b> ・ウォーキングを通して、健康づくり、見聞を広める、仲間の親睦を深める、人生をより深く、より広く、楽しく、心豊かに過ごそう、を目的とする。	
<b>対象者</b> 北地区民	<b>参加人数</b> 101人
<b>開催期間</b> 4月16日（日曜日）～3月16日（土曜日）	<b>実施回数</b> 10回
<b>事業の内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春の備北丘陵公園を歩こう</li> <li>・三次市三良坂町内散策</li> <li>・川手地区散策</li> <li>・道後山ウォーキング</li> <li>・比和町散策</li> <li>・中村憲吉記念文芸館&amp;町内散策</li> <li>・北地区ウォーキング大会「門田町散策」</li> <li>・勝光山へ登ろう“狼煙上げに参加”</li> <li>・みよし運動公園周辺散策</li> <li>・三次市吉舎町散策</li> </ul>	
<b>特徴的な内容</b> ・参加人数にこだわらず、事業の目的に沿って健康と見聞を広めることに力を入れている。	
<b>成果・課題等</b> ・冬季の12月・1月を除き毎月の開催ができたが、人数は伸び悩み傾向にある。	
<b>写真</b>	

事業名		事業テーマ	
子ども写真教室		西城の魅力を発見してみませんか！	
<b>事業費</b>			
16,775 円（事業費の内訳：報償費 10,200 円・需用費 4,991 円・印刷製本費 1,584 円）			
<b>事業の概要</b>			
・小学生を対象に西城町在住の2名を講師に迎え写真の撮り方等を学ぶ。			
<b>事業の目的</b>			
・カメラを通して西城町の新たな発見をすることを目的とし、日頃乗る機会が少ない JR に乗って写真を撮り、カメラの使い方等を学ぶ。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
小学生		5人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
10月28日（土曜日）		1回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年10月28日（土）午前7時～午後12時</li> <li>・場 所：備後落合駅、比婆山駅、西城自治振興センター</li> <li>・講 師：安原 克氏 藤川 聖弘氏</li> <li>・対象者：小学生 8名</li> <li>・事業内容：子ども写真教室</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・JRに乗って駅周辺を撮影する。（備後落合駅・比婆山駅）</li> <li>・備後落合駅では、ボランティアガイドの方から駅の話聞き JR のジオラマを見学する。</li> <li>・比婆山駅周辺を撮影し、昔ながらの商店の見学と撮影をさせてもらう。</li> <li>・撮影した写真を一人3枚選びタイトルをつけ、西城フォトコンテストへ応募する。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は、JRへ乗れるので大変喜んでいました。</li> <li>・備後落合駅での駅の話やジオラマは、興味深く見学をしていた。</li> <li>・カメラ操作や撮影スポット等詳しく教えてもらえてよかった。</li> <li>・参加者が毎年ほぼ同じメンバーになるので、幅広い学年に参加してもらいたい。</li> <li>・撮影場所等の選定に苦労する。</li> </ul>			
<b>写 真</b>			
			

事業名	事業テーマ
しいたけ栽培講座&旬の料理づくり	農産物の栽培技術向上、料理づくり
<b>事業費</b> 39,264円（事業費の内訳：需用費（食材・消耗品）39,264円）	
<b>事業の概要</b> ・広島経済大学の学生と農業体験及び料理づくりをすることで、地域の方と学生の交流会をすることで地域の活性化を図る。	
<b>事業の目的</b> ・地域の高齢者が学生に椎茸の栽培技術を教えながら、学生と交流を図ることで地域を活性化させる。	
<b>対象者</b> 一般・その他（大学生）	<b>参加人数</b> 22人
<b>開催期間</b> 9月30日（土曜日）	<b>実施回数</b> 1回
<b>事業の内容</b> ・午前中は学生と高齢者等でしいたけ栽培講座（椎茸榎木の本伏せ作業）を行い、午後は料理づくりを学生と料理教室メンバーで行った。	
<b>特徴的な内容</b> ・地域の高齢者指導のもとで行った榎木本伏せ作業と八銚で育てた椎茸を使った料理づくり。	
<b>成果・課題等</b> ・参加者から感想を聞いた結果、「広島市の町の中で生まれ住んでいるが、庄原に来て落ち着けるのも良い。今日の作業は貴重な体験だった。」とお声をいただき、大変好評だった。今後も継続していきたい。	
<b>写真</b> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

事業名	事業テーマ
スマホ教室	知識・技術を身につけるための諸事業の実施

**事業費**

9,240円（事業費の内訳：需用費9,240円）

**事業の概要**

・「楽しく安全にスマホを使おう」を合言葉に全7回の開催。シニアを中心に、使い方がよく分からない方や、おさらいを兼ねて参加した方も含め延べ19人が参加した。初回の9月は、入門編として基本操作・インターネットで検索・QRコード・セキュリティーについてを、自作テキストや市販本で説明をしながら進めた。10月からは、カレンダー機能、LINEやradikoなどのアプリを一人ひとりに合わせて説明や実際に体験した。

**事業の目的**

・スマートフォンを安全に楽しく使えるようになることが目的。

**対象者**

地域住民

**参加人数**

延べ15人

**開催期間**

9月21日（木曜日）～12月26日（火曜日）

**実施回数**

7回

**事業の内容**

スマートフォンを安全に楽しく使いたいという要望に応じて開催した。従来の携帯電話から乗り換えたものの、操作方法に戸惑うことが多く、かといって誰かに相談したり、ショップに出向くのも大変という方の声を反映し、自治振興区でスマホ教室を開催した。

**特徴的な内容**

・自治振興区独自でテキストを工夫して作ったり、市販テキストも用意した。

**成果・課題等**

・結果的に教室型ではなく机を囲んで説明や操作体験を行った。毎回の内容を工夫して、一人ひとりの気になる点、わからない箇所を聞き出した。それを個別に解決することによって基本的な操作ができるようになった。

**写真**

事業名	事業テーマ
からだゆらし	健康に関する講座

**事業費**

21,000円（事業費の内訳：報償費 21,000円 ※その他、地域力助成事業より30,600円）

**事業の概要**

- ・講師が参加者それぞれの身体の状態に合わせた、身体に負担をかけない動作や歩き方などを教える講座

**事業の目的**

- ・加齢、日常生活の癖とともに生じる身体の歪みを正しい状態に戻すことを学び、自ら意識し、自宅等でも健康維持に努めることができるようにする

**対象者**

地域住民

**参加人数**

延べ72人

**開催期間**

4月6日（木曜日）～3月7日（木曜日）

**実施回数**

12回

**事業の内容**

- ・講師作成の「からだゆらし」の本に基づき、からだを緩める・ほぐす体操。また、からだゆらしの「ゆらし」とは、「ゆっくり・らかに・しずかに」する体操。
- ・身体に負担をかけない動き方ができているかチェックし、参加者それぞれの身体の状態に合わせて正しい姿勢、動作ができるよう解消法を学ぶ。

**特徴的な内容**

- ・日常生活での歩き方、座り方、立ち方など、毎月1つのテーマに絞って行われるので、参加者が内容と自分の身体の状態を理解しながら学ぶことができる。身体の不調の相談にも応じ、解消法も学べる。

**成果・課題等**

- ・参加者の身体の状態を毎回チェックしながら講習が行われるので、身体の異常をしっかりと認識できる。そのうえで、正しい姿勢へと導き、自宅等で引き続き実践できるので、参加者の満足度がとても高い。
- ・参加者を増やし大人数で行うこともできるが、現在は少人数のため講師の個別チェックを受けられやすいが、大人数で行うと個別指導も若干減り、満足度が下がるのではないかとと思われる。

**写真**

事業名	事業テーマ
田森まると元気村	世代間交流と子供の健全育成

**事業費**

42,200円（事業費の内訳：報償費25,000円・需用費4,200円・借上料13,000円）

**事業の概要**

・子供達の豊かな心を育み生きる力を身につける体験活動。

**事業の目的**

・世代間交流と子供の健全育成を目的とし、地域学習や体験活動などを行う。

**対象者**

粟田小学校児童、田森地区民

**参加人数**

88人

**開催期間**

7月5日（水曜日）～1月31日（水曜日）

**実施回数**

5回

**事業の内容**

- ・低学年…昔遊びを体験（3回）
  - 1回目「おはじきと小石を使った遊び」
  - 2回目「山くずし、ゴム跳び、四角ろくむし」
  - 3回目「リーム転がし」
- ・1年～3年…社会見学「イチゴ農家の仕事」
- ・全校…昔遊び「竹とんぼを作って遊ぼう」

**特徴的な内容**

・地域住民が講師となり、それぞれの体験活動を支援した。  
「社会見学」は、農家の仕事や工夫などの話を聞くことが出来た。  
「昔遊び」では、テレビがない時代、おもちゃを自分たちで工夫しながら作って遊んだことや、昔の暮らしについても話をしてもらった。

**成果・課題等**

- ・田森自治振興区と粟田小学校が連携しながら、子供達に貴重な体験ができるよう進めた。  
子供達は、目を輝かせて見学したり、質問をしていた。  
また、地域の方に支援していただき、子供達と交流することができた。  
今後も、地域の方や世代を越えた交流を図り、様々な体験事業を進めたい。

**写真**

事業名	事業テーマ
野外活動	サマーキャンプ
<b>事業費</b>	
94,197円 （報償費（7,000円×3人）21,000円/需用費（食材、消耗品）30,000円/借上料（貸切バス）43,197円）	
<b>事業の概要</b>	
八幡自治振興区との共催で、東城町内の児童及び親を対象に、東城町子ども会育成団体連絡協議会の講師によるサマーキャンプを実施する。	
<b>事業の目的</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーキャンプを通して、物事にチャレンジする・仲間を励ます・我慢をするなどの自尊感情・自己効力感・達成意欲・道徳心を育む。</li> <li>・集団や仲間同士で楽しむことに加え、自分と異なる意見の人と一緒に行動する、話し合いでなにかを決めるなど、様々な交流や意見交換の場とすることで、個人のコミュニケーション能力や人間関係力を向上させる。</li> <li>・自然の中で火をおこし、飯盒炊飯・カレー作りを行うことによって、環境意識や自然認識能力を養う。</li> </ul>	
<b>対象者</b>	<b>参加人数</b>
東城町内の小学生とその保護者	延べ38人
<b>開催期間</b>	<b>実施回数</b>
8月5日（土）13時00分～21時00分	1回【一回当たり所要時間：7時間30分】
<b>事業の内容</b>	
13時30分～集合・貸切バスで八幡自治振興センターに移動 14時30分～開校式・オリエンテーション 15時～ゲーム 16時00分～かまどの火おこし・飯盒炊飯・牛肉/豚肉/鶏肉の3班に分かれてカレーの具材調理 18時00分～夕食・片付け 19時～キャンプファイヤー 20時30分～閉会式・反省会・貸切バスで東城自治振興センターに移動 21時～解散	
<b>特徴的な内容</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東城・八幡地域の児童の交流を図る。</li> <li>・地域の自然の中で、児童と保護者の思い出作りの場としてもらう。</li> </ul>	
<b>成果・課題等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりの開催となった。八幡自治振興区との共催は初めての試みだったが、子供たちからは楽しかった、感動したとの声があった。</li> <li>・少子化により、参加する児童の数が年々減少している。</li> </ul>	
<b>写真</b>	
	

事業名		事業テーマ	
ふれあい弁当		お元気ですか？！	
<b>事業費</b>			
81,610円（事業費の内訳：需用費81,610円）			
<b>事業の概要</b>			
・帝釈地域の民生児童委員・高齢者等一人暮らし巡回相談員・自治振興区関係者がお弁当を作り、高齢者の一人暮らし・高齢者のみの二人暮らしの方に年2回配達する。			
<b>事業の目的</b>			
・75歳以上の高齢者の一人暮らし・高齢者のみの二人暮らしの方に年2回配達し、近況を聞いたり、安否確認を目的にする。 ・関係者同士の情報交換の場とする。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
75歳以上の高齢者と自治振興区関係者		延べ230人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
11月9日（金曜日）～3月7日（金曜日）		2回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お弁当を作り、高齢者宅を訪問し声掛け・安否確認しながら、近況の確認をする。</li> <li>・栄養のバランスを考え、季節感のある献立とする。</li> <li>・お弁当作りに参加した同士の情報交換の場にもなっている。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りのお弁当</li> <li>・高齢者が食べやすく、栄養のバランスを考えたお弁当にする</li> <li>・配達した際には、声掛けをして安否確認する</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「美味しかったよ」と喜んで食べていただいた。</li> <li>・75歳以上の高齢者のみの家庭が増え、作る数が増える一方となった。対象者を検討するべきか・・・</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			
			

事業名	事業テーマ
久代でげんきシリーズ 認知症について学ぼう！	認知症について楽しく学ぼう

**事業費**

124,340円（事業費の内訳：報償費118,200円・需用費6,140円）

**事業の概要**

・医療社団法人聖仁会 戸谷修二医師と大起エンゼルヘルプ取締役和田行男先生にお越しいただき、実例等を踏まえてわかりやすく認知症について学ぶ。

**事業の目的**

・厚労省の推計によると、2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるとされている。このことから、久代地域においては40人程度が認知症やその予備軍となるとされている。そのため、認知症に対する理解を進めることで、だれもが安心して久代地域で暮らしていただけることを目的に開催する。

**対象者**

久代地域住民

**参加人数**

25人

**開催期間**

11月7日（木曜日）

**実施回数**

1回

**事業の内容**

・医療社団法人聖仁会 戸谷修二医師と大起エンゼルヘルプ取締役和田行男先生にお越しいただき、座談会形式で認知症について皆さんの質問に答えていく。

**特徴的な内容**

- ・認知症と物忘れとの違い。
- ・専門家から見る認知症と地域との関わり方。
- ・認知症の在宅支援の最新状況。
- ・親しい人や自分が認知症かなと思った際の相談窓口。

**成果・課題等**

- ・「話の上手な面白い講師で楽しく学ぶことができた」との声があった。
- ・もう少し広報の仕方を工夫すれば、より多くの方にお越しいただけたと思う。

**写真**

事業名	事業テーマ
とんど祭り	地域伝統事業の継承
<b>事業費</b> 1,370円〔需用費(消耗品費) 1,370円〕	
<b>事業の概要</b> ・子どもから大人まで地域住民が、正月飾りや古くなった御札を持ち寄り、伝統的な火祭り行事である「とんど焼き」を行って、無病息災や家内安全を願い新しい年の幸せを祈願する、また、この行事を通して住民同士の交流を図る。	
<b>事業の目的</b> ・地域住民の世代間交流や情報交換の場を提供するとともに、高齢者の孤独化を防ぐことを目的とする。	
<b>対象者</b> 一般住民	<b>参加人数</b> 11人
<b>開催期間</b> 1月21日（日曜日）	<b>実施回数</b> 1回
<b>事業の内容</b> ・事前に準備した竹などを当日に組み上げ、持ち寄られた正月飾りや御札などをお焚き上げし、その火でつくったぜんざいなどを食べながら談笑し今年一年の無病息災や家内安全を祈願した。	
<b>特徴的な内容</b> ・正月飾りなどを事前に振興センターで預かりお炊き上げできるようにしており、当日参加できない世帯の人からも喜ばれている。	
<b>成果・課題等</b> ・竹などの用意や円すい状に組む作業がうまくできないことが多かったが、今回は今までとは違った方法で竹を組むなど十分に準備することができた。 ・例年子どもの参加を期待しているが、寒い時期の事業であり天候や体調も影響を受けることから、今回は子どもの参加は無く大人も少なかった。少子高齢化と人口減少が進んでいることが影響していると思われる。	
<b>写真</b>	

事業名		事業テーマ	
小学生ふれあいスポーツ教室		健康づくりと世代間交流	
<b>事業費</b>			
0円			
<b>事業の概要</b>			
・軽ニュースポーツの体験会			
<b>事業の目的</b>			
「児童達の健康づくり」 酷暑が続く運動をする機会の少ない夏休み中に、生涯スポーツである軽ニュースポーツを学び、楽しく体を動かすことを体験してもらう。 「世代間交流」 様々な団体と連携し、幅広い世代の方と交流する。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
主に口和地域内の小学生児童		15人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
8月4日（金曜日）		1回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験した軽ニュースポーツ…フライングディスク、モルック、ボッチャ。</li> <li>・軽ニュースポーツは専門家を講師に招き、ルールやコツを指導していただいた。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段、体験する機会の少ない軽ニュースポーツを体験した。</li> <li>・地域の各種団体と連携して実施した。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<b>【成果】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み中の小学生が、地域の方々と交流しながら一緒に軽ニュースポーツを体験した。</li> <li>・事業実施中、参加者たちはとても楽しそうにすごしていた。</li> <li>・事業終了後、参加者やスタッフに感想を聞くと「モルックがとても楽しかった」「子供たちから元気をもらうことができた」と高評価だった。</li> </ul>			
<b>【課題】</b>			
・児童の参加人数が少なかったため、参加の呼びかけについて力を入れていきたい。			
<b>写真</b>			
			

事業名	事業テーマ
こども防災・工作教室	防災意識向上を図る

**事業費**

10,993円（需用費（消耗品）10,993円）

**事業の概要**

小学生を対象として、地域の気象状況の情報や防災クイズ、身近な材料でできる防災グッズづくりをとおして、防災に関する知識を楽しみながら学ぶ。

**事業の目的**

昨今の災害による被害拡大がみられる中、身近でいつ起こるかかわからない災害に対する知識や備えの大切さを学ぶことを目的とする。

**対象者**

小学生

**参加人数**

20人

**開催期間**

8月17日（木曜日）

**実施回数**

1回 【1回当り所要時間：90分】

**事業の内容**

- ・子供の時から防災に興味を持ってもらうため、楽しみながら防災の意識づくりを行う。
- ・地域の気象の特徴と災害に対する心構え等を学び、身近な材料で災害グッズを作成する。

**特徴的な内容**

・小学校1年生から5年生の児童の参加があり、地域の気象や防災クイズから学び、身近な材料でできる防災グッズ（段ボールでできる簡易トイレ、新聞紙で作るスリッパ、ペットボトルで作るランタン等）を作成。高校生ボランティアにも参加してもらい、一緒に取り組んだ。

**成果・課題等**

- ・防災の説明者と協議の上、子どもたちの興味を引く内容づくりに努めた。当初、トイレづくりに時間をかける予定を変更し、ランタンづくりに時間を取ったことは良かった。子供からは「防災の工作が楽しかった」「覚えて災害に活かしたい」「ランタンづくりは楽しかった」などの感想があり、防災に興味を持つ機会となった。
- ・防災の話は年齢層に幅があり、低学年には難しいようだったが、グッズづくりはどの学年も楽しんでた。できれば、継続事業としたい。次回は年齢層の枠を考慮した実施の検討が必要。

**写真**

事業名	事業テーマ
たかの体験（秋）	りんごの収穫体験と食べ比べ
<b>事業費</b>	
27,200円（事業費の内訳：体験委託料12,600円・お土産5,400円・消耗品9,200円）	
<b>事業の概要</b>	
高野町を代表する地域資源の一つである秋のりんご園を会場に体験学習を実施する。	
<b>事業の目的</b>	
地域の特性をアピールしながら高野町の情報発信に努め、関係人口づくりを構築していく。	
<b>対象者</b>	<b>参加人数</b>
町外在住者	大人17人、子ども5人 合計22人
<b>開催期間</b>	<b>実施回数</b>
10月15日（日曜日）	たかの体験は年4回 その内の1回
<b>事業の内容</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご園の散策と「あるある話」を生産者から聞く</li> <li>・収穫体験（もぎ取った3個はお土産として持ち帰り）</li> <li>・りんごの食べ比べ（16種類）</li> <li>・りんごジャム、りんごジュースのサプライズ提供</li> <li>・アンケート調査の実施</li> </ul>	
<b>特徴的な内容</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たわわに実った赤いりんごがあたり一面に広がる「魅力的な風景」の提供。</li> <li>・木からりんごをもぎ取る収穫体験は子供から大人まで「感動」の提供。</li> <li>・16種類の食べ比べは生産地ならではの企画で、参加者にとっても「新たな体験」を提供。</li> </ul>	
<b>成果・課題等</b>	
定員20名のうち、17名がリピーターの参加となりイベントの魅力発信が徐々に浸透している実感がある。参加者からは好評価をいただいている。	
<b>写真</b>	
	
	

事業名		事業テーマ	
スマホ教室		防災アプリを活用しよう	
<b>事業費</b>			
4,000円（事業費の内訳：報償費3,000円・需用費1,000円）			
<b>事業の概要</b>			
・総務部会主催で部員と事務局が講師を務めるため、防災への関心を高め対応について考えてもらうことを目的として防災アプリのインストールとその使い方を学んでもらう。			
<b>事業の目的</b>			
・中年以上の方からスマートフォンの使い方についての問い合わせが年々増えている。また多くの方がスマートフォンを所有しており、聞きに来る人もいる。そこでスマートフォンのWi-Fiの接続とアプリのインストールなど基本的な操作のマスターのため開催した。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
比和町民		9人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
7月19日（水曜日）		1回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi-Fiの接続。</li> <li>・アプリのインストールの仕方。</li> <li>・防災アプリの説明。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
・防災アプリの導入により、天気情報が分かるようになり便利になった。			
<b>成果・課題等</b>			
・各自所有するスマートフォンは機種が違うことにより、設定の仕方も一緒でないためワンツーマンのほうが伝えやすい。スマートフォン教室は続けて実施したいと思った。			
<b>写真</b>			
  			

事業名		事業テーマ	
うんどうび		健康づくり	
<b>事業費</b>			
285,375円（事業費の内訳：報償費282,600円・旅費2,775円）			
<b>事業の概要</b>			
・運動を習慣化するために毎週火曜日をうんどうの日と位置づけて、理学療法士による参加者の個別プログラムを作成後、総領保健福祉センターにある運動器具を活用して運動を行う。			
<b>事業の目的</b>			
・介護保険対象外の人の運動機能向上。転倒、骨折の予防。			
<b>対象者</b>		<b>参加人数</b>	
65歳以上で運動機能の低下が認められる希望者		146人	
<b>開催期間</b>		<b>実施回数</b>	
4月4日（火曜日）～3月26日（火曜日）		36回	
<b>事業の内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1火曜日に理学療法士が参加者個々の運動プログラムを作成。</li> <li>・第2火曜日から第4火曜日まで、個々の運動プログラムにより運動器具を使って運動。</li> <li>・翌月の第1火曜日に、先月の運動状況を見て、次週からのプログラムを更新。</li> <li>・第2火曜日から第4火曜日まで、個々の更新運動プログラムにより運動器具を使って運動。</li> </ul>			
<b>特徴的な内容</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設に備え付けの運動器具を活用すること。</li> <li>・初心者でも運動器具が使えるように、サポートスタッフを配置している。</li> <li>・参加者個々に合わせ理学療法士が運動方法と量を決定する。</li> </ul>			
<b>成果・課題等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月に1回理学療法士が個々の状況を確認することにより、継続的な運動につながり、介護予防（転倒、骨折予防）の一助となった。</li> <li>・次年度以降も引き続き実施していく。</li> </ul>			
<b>写真</b>			
			

## 連絡先一覧

地域	自治振興区名	拠点施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原市庄原自治振興区	庄原自治振興センター	727-0013	庄原市西本町 2-17-15	72-3777 (3002)	shobara-ziti @peace.ocn.ne.jp
	庄原市高自治振興区	高自治振興センター	729-5811	庄原市高町 821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss @gmail.com
	庄原市本村自治振興区	本村自治振興センター	727-0623	庄原市本村町 1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi @gmail.com
	庄原市峰田自治振興区	峰田自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町 1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi @outlook.jp
	敷信自治振興区	敷信自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町 203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi @gmail.com
	庄原市東自治振興区	東自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町 11-2	72-2854 (3090)	higashi722854 @gmail.com
	庄原市山内自治振興区	山内自治振興センター	729-6131	庄原市山内町 813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi @gmail.com
	庄原市北自治振興区	北自治振興センター	727-0203	庄原市川北町 154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss @gmail.com
西城	西城自治振興区	西城自治振興センター	729-5722	庄原市西城町 大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi @gmail.com
	八銚自治振興区	八銚自治振興センター	729-5601	庄原市西城町 小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi @u-broad.jp
東城	東城自治振興区	東城自治振興センター	729-5121	庄原市東城町 川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo @aioros.ocn.ne.jp
	小奴可の里自治振興区	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町 内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka @vesta.ocn.ne.jp
	八幡自治振興区	八幡自治振興センター	729-5456	庄原市東城町 森2668-2	4-0205 (3320)	yawata @vesta.ocn.ne.jp
	田森自治振興区	田森自治振興センター	729-5127	庄原市東城町 粟田1715-1	2-0661 (3330)	tamori @vesta.ocn.ne.jp
	帝釈自治振興区	帝釈自治振興センター	729-5244	庄原市東城町 帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku @vesta.ocn.ne.jp
	久代自治振興区	久代自治振興センター	729-5122	庄原市東城町 久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro @vesta.ocn.ne.jp
	新坂自治振興区	新坂自治振興センター	729-5132	庄原市東城町 三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka @vesta.ocn.ne.jp
口和	口和自治振興区	口和自治振興センター	728-0502	庄原市口和町 向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi @gmail.com
高野	庄原市上高自治振興区	上高自治振興センター	727-0402	庄原市高野町 新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi @gmail.com
	庄原市下高自治振興区	下高自治振興センター	727-0423	庄原市高野町 下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8 @gmail.com
比和	庄原市比和自治振興区	比和自治振興センター	727-0301	庄原市比和町 比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi @gmail.com
総領	庄原市総領自治振興区	総領自治振興センター	729-3703	庄原市総領町 下領家278	88-3067 (3502)	info @souryou-jichi.net

市外局番 0824 (東城地域 08477)

### 生涯学習事業実践事例集

～自治振興区で行う生涯学習事業～ (令和5年度事業)

令和7年3月発行



庄原市教育委員会 教育部生涯学習課生涯学習係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogaigakusyu@city.shobara.lg.jp